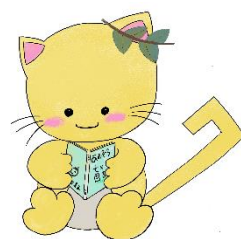




十二月田小学校



「考えて！決めて！伸びろ十二月田っ子！」

本校では令和6年度から、「自己指導能力の育成」を目指し、校内研修を行っています。

「自己指導能力」とは「児童がその時、その場でどのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて、実行する能力」と定義されています。適切な行動を選択するための基盤として道徳教育での学びや気付きも大切だと考え、研究を深めています。

こんなとき どうする木

発達段階に合わせて「自分だったらどんな行動を取るか」考え、

「どうする木」に掲示します。7月のテーマは…

低学年：夏休み、行ってはいけないところに仲良しの友達に「一緒に行こう」

と誘われた。どうする？

高学年：夏祭りで友達に「お金を貸して」と言われた。どうする？



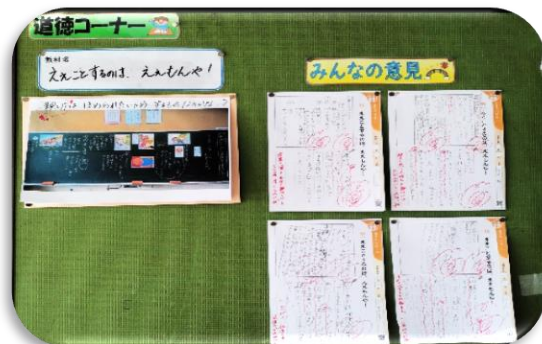
低学年では、丸シールで自分の考えに近いものを選択し、高学年では、一人一人自分の考えを記入しています。

校内の様々な掲示物



校舎を繋ぐ渡り廊下を「It's a 自己指導能力 world」として、様々な掲示をしています。道徳等の授業実践を児童や教員が見て振り返れるようになっています。

各学年の道徳コーナー



板書と児童のノートを掲示しています。友達の見えから、気づき、考えを深め、これからの生き方に生かすことを見つけていきます。

道徳の授業を要として、児童一人一人が自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする心を育むことを今後も目指していきます。